

まちの「今」をお届けします

平成 28 年移転の厚狭図書館
貸出冊数 50 万冊を達成！

厚狭図書館が厚狭地区複合施設内に移転してからの貸出冊数が 50 万冊を突破し、5 月 6 日、50 万冊目の利用者となった市内在住の石井真衣さんと長女の楓夏ちゃん親子に花束と記念品の図書カードが贈られました。

厚狭図書館は、平成 28 年 2 月に厚狭地区複合施設が整備されたのをきっかけに移転開館しました。蔵書は約 8 万冊で 1 日平均 120 人の利用があります。石井さんは、2 週間に 1 度、子どもの絵本を 10 冊ほど借りているそう。長男の颯之助くんは乗り物の絵本、楓夏ちゃんはくだものや花、動物の絵本が大好きだそうです。「たまたま本を借りにきてびっくり。厚狭図書館は畳の上で本が読めるスペースがあったり、子ども用トイレがあったりして子どもに優しい場所。これからは自分用の本も借りてみたい」と話しました。

また、山本安彦館長は「去年は新型コロナウイルス感染症の影響で約 3 か月の間休館を余儀なくされた。開館から約 5 年が経過し今回の節目を迎えたが、新しい図書館になって利用は伸びている。これからもさらに市民に親しまれる図書館になるよう、努力していきたい」とあいさつしました。



子どもたちにお金の大切さを分かりやすく解説
絵本 80 冊を市に寄贈

5 月 13 日、山陽商工会議所青年部の石井次哉会長と小野田商工会議所青年部の瀬口康道会長が市役所を訪問し、青少年の健全育成を目的に絵本 80 冊を寄贈。絵本「おかねってなあに？」は、新一万円札の肖像に選ばれた渋沢栄一の玄孫にあたる渋澤健さんが監修。絵本は、市内の小学校、図書館、公民館に配付されました。



優しさや思いやりの心を育てよう
高千帆小にひまわりの種

「人権の花」とされるひまわりの育成を通じて子どもたちに人権意識を育ててもらおうと、5 月 19 日に高千帆小学校でひまわりの種の贈呈式が開催され、人権擁護委員から 5・6 年生の園芸委員 29 人へ種が贈られました。有田光枝人権擁護委員は「ひまわりを大きく咲かせて人権の輪を広げてほしい」と呼びかけました。